

広報  
の

# まつぎ

2013  
(平成25年)

6

No.589



第28回岩科重文まつりで、お餅つき

# ご存知ですか？

# 介護保険制度

介護保険制度は、40歳以上の方が加入する保険制度です。介護が必要と認定された場合は、費用の一部を支払い、介護（介護予防）サービスが利用できます。サービスを利用する必要がある場合は、健康福祉課介護保険係に申請してください。

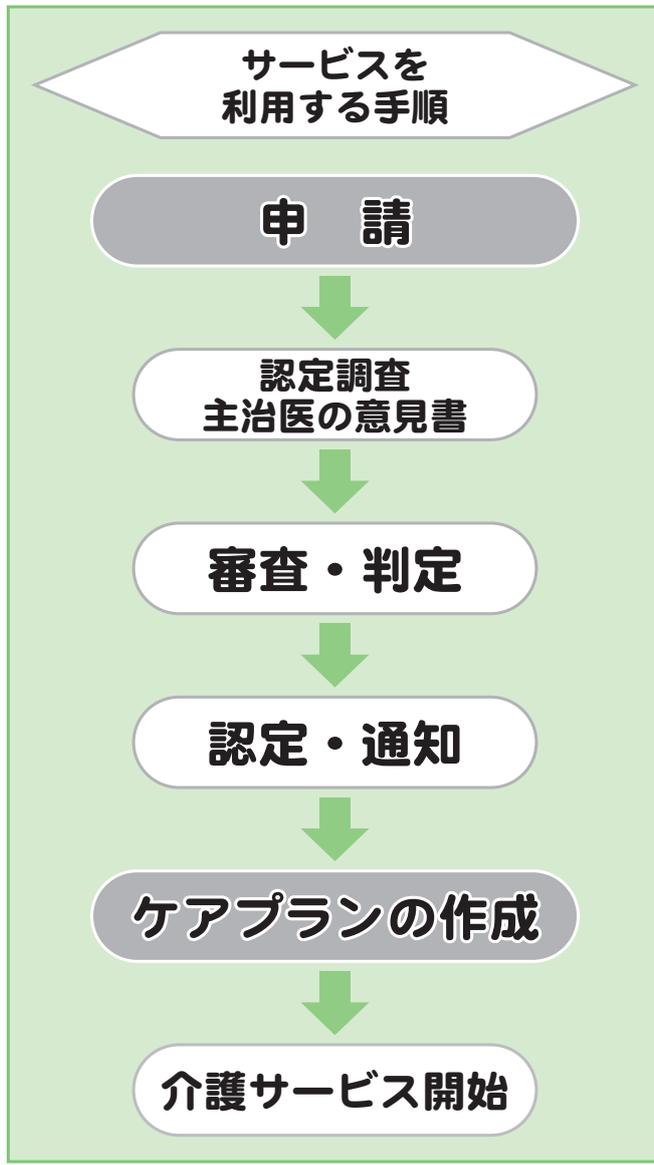
「介護認定審査会」で介護が必要と認定された方は、ケアプランを作成していただきます。

「要支援1、2」に認定された方は、健康福祉課内にある松崎町地域包括支援センターに「介護予防ケアプラン」の作成を依頼してください。

「要介護1〜5」に認定された方は、居宅介護支援事業者等に配置されているケアマネジャーに「ケアプラン」の作成を依頼してください。

ケアプランに基づいて、介護サービスが提供されます。

【問合せ】  
健康福祉課（42） 3966



## 町内の居宅介護支援事業者

(50音順)

- エイジレス・ケア・スタッフ  
住所 松崎65-7  
電話 (43)1619
- しんわ福祉サービス松崎  
住所 江奈574-3  
電話 (43)3100
- まつざき居宅介護支援事業所  
住所 宮内362-1  
電話 (43)3512
- 松崎十字の園居宅介護支援事業所  
住所 江奈157  
電話 (43)3131

ケアマネジャー（介護支援専門員）とは介護の知識を幅広く持った専門家で、介護サービスの利用にあたり、次のような役割を担っています。



- 利用者や家族の相談に応じアドバイスします。
- 利用者の希望に沿ったケアプランを作成します。
- サービス事業者との連絡や調整を行います。
- 施設入所を希望する方に適切な施設を紹介します。

介護が必要な状態になる前に、できることがあります！

## 介護予防の相談は、 松崎町地域包括支援センターへ

「寝たきりにならないか不安だ」、「忘れっぽくなったので、お金の管理が心配」等、高齢者の方が抱える健康・生活の悩み、ご家族が抱える介護の問題等、高齢者に関わる相談をお聴きして、適切なサービスにつなげていくのが、松崎町地域包括支援センターです。お気軽にご相談ください。

「脳力アップ教室」の様子です。参加者は、楽しく脳の活性化に取り組んでいます。



幸せに暮らす基本は、心身ともに健康であることです。年を重ねるとともに、健康を保ち続けることと併せて、寝たきりや認知症等なるべく未然に防ぐよう、早めに効果的な健康づくりや介護予防に取り組むことが大切です。



「脳力アップ教室」の様子です。スタッフの方が丁寧に指導していただきます。

町では、下の表に記載している介護予防教室の実施を予定しています。詳細は、松崎町地域包括支援センター（健康福祉課内）へお問い合わせください。  
【問合せ】  
松崎町地域包括支援センター  
(42) 3966

### ● 主な介護予防教室 ●

教室名	内容
脳力アップ教室	脳トレーニング、ゲーム、体操、遠足等のレクリエーションで脳を刺激し、いつまでも元気で生活することを目指す一番人気の教室です。
認知症サポーター養成講座	認知症について理解を深めるための講座で、介護の方法等が学べます。5人以上のグループ等に、講師を派遣します。
のびのび介護予防教室 各種講演会・健康講座	講話等を通して、介護予防に関することを学ぶ事業です。これに参加することで、介護にならない生活が身に付きます。
介護者の集い	介護している方同士で、介護に関する情報交換をしたり、リフレッシュしたりするための教室です。
健脚教室※	理学療法士の指導のもと、足腰をトレーニングし、予防・改善するための教室です。「こうなりたい」という目標を達成しましょう。
健口教室※	歯科衛生士の指導のもと、口や歯の手入れについて知識を得るための教室です。誤嚥や肺炎の予防にも効果があります。

※印の教室は、該当する方に通知でご案内しています。

## 二十一世紀松崎町

### 三つの実践運動について

町では、青少年健全育成活動の一環として「あいさつ・返事・後しまつ」を合い言葉に、「二十一世紀松崎町三つの実践運動」を展開しています。

この運動は、「学校・家庭・地域」が連携し、子どもを育てるため、大人から実践すること、「大人も子どもも互いに関わり合いを深めること」という2つの視点から提案されたものです。

小・中学生へのアンケートからは、「自分から先にあいさつをする」、「地域の人にあいさつをする」、「観光客にもあいさつをする」等、あいさつを頑張っている回答が多くありました。また、町民の方へのアンケートでは、「子どもたちのあいさつがとてもよい」、「他町から来たが、地域の方が温かいあいさつをしてくれるので、すぐに顔見知りになった」等、あいさつを通じてつながりを感じ、心地よさを感じられたという回答が多くありました。

後しまつについては、「もつ

と頑張ってほしい」等、課題もあるようですが、先日の春のピカ市では、自主的にゴミ拾いを始める中学生たちの姿が見られ、心打たれました。

三つの実践運動は、家庭・学校で繰り返し声をかけていくことももちろんですが、普段から地域の大人同士、また、地域の子どものあいさつや声かけを行うことでより推進されます。

地域での温かい言葉を受けた子どもたちは、安心感を抱きます。また、自尊心や自己肯定感が高まる等、健全育成への効果も期待されます。この運動を実践につなげるためには、学校・家庭・地域の連携が不可欠です。特に、地域の皆様におかれましては、登下校中の児童・生徒への声かけをお願いします。

今後三つの実践運動を推進し、地域ぐるみで「心地よいあいさつが溢れる町」を目指していきましょう。

#### 【問合せ】

教育委員会（42） 3971

#### 返事について

- ・授業で指されたら「はい」と返事をしてから発表します (松小1年)
- ・名前を呼ばれたら返事をする (松小3年)
- ・相手に聞こえる声で返事をする (松小4年)
- ・相手を見て返事をする (中学生)
- ・から返事をしない (中学生)
- ・相手の目を見て気持ちのいい返事ができるようになってほしいです (保護者)
- ・問いかけに対して無言ではなく何かしらの反応(返事)をするように言っている (保護者)

#### あいさつについて

- ・出会った人みんなにする (松小1年)
- ・あいさつが広がる学校にしたい (松小2年)
- ・相手より早くあいさつする (松小4年)
- ・相手の人が気持ちよくなるように心を込めてあいさつする (松小6年)
- ・大きな声で元気よく (中学生)
- ・地域の方から息子のあいさつをほめられ、親までうれしくなりました (保護者)
- ・自分から進んであいさつができるようになってきました (保護者)

## 児童・生徒・保護者・地域の方の意見から

#### 地域の方の意見から

- ・親しく声を掛けあうことで地域のつながりや防災についても役だっている (60代女性)
- ・子どもたちはあいさつを返してくれてとても気持ちよいです (70代女性)
- ・松崎町は、あいさつがいい。苦手な子もいるが、大人は常に声掛けしてあげることが大切 (30代男性)
- ・知らない子どもがあいさつしてくれます。一人暮らしですので、これだけでも、とても嬉しいです (70代女性)

#### 後しまつについて

- ・1つのことが終わったら片付ける (松小2年)
- ・お道具箱をきれいに (松小3年)
- ・めんどくさいをやめる (松小5年)
- ・置きっぱなしにしない (松小6年)
- ・人に迷惑をかけない (中学生)
- ・使ったものは責任を持って片付ける (中学生)
- ・机の上は常に整頓しておくように (保護者)
- ・自分の食べた食器運びや靴そろえをお願いしている (保護者)

# 地域の福祉を推進する

## 民生委員・児童委員の活動

地域の中で、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な支援を行う等の福祉活動に取り組んでいる「民生委員・児童委員」をご存知ですか。

高齢化が進み、地域社会を取り巻く状況が大きく変化している中、地域福祉の推進役として民生委員・児童委員制度が担う役割はますます重要になっています。

### ○地域の暮らしを見守るさまざまな活動

さまざまな分野で福祉サービスが整備されていく一方で、その内容や利用方法を知らない方も少なくありません。民生委員・児童委員の主な活動は、日常生活で支援を必要としている方々の相談に応じ、福祉サービスを提供する行政や事業者との橋渡し役として、町民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう支援していくことです。

地域の高齢者世帯や障害者世帯への見守り、生活保護世帯の相談等に対応するため、

定期的に自宅等を訪問して安否の確認を行ったり、悩み事等の相談を受けたりしながら、「守秘義務」を前提に、世帯ごとにどのような支援が必要か把握していきます。

こうして得た情報をもとに、問題点や意見をまとめて行政に提起するのも民生委員・児童委員の大切な役割です。

### ○平成25年12月1日(日)に実施される一斉改選

現在活動している民生委員・児童委員の任期は、平成25年11月30日(土)までです。12月1日(日)には全国で再任を含めた一斉改選が行われ、平成28年11月末まで活動する委員が委嘱されます。

委員は担当地区を定め、その地域の状況を十分に把握し、住民の福祉の増進を図るための活動を行います。

住み慣れた地域の中から候補者を選出するに当たっては、地域の皆様のご理解が欠かせません。一斉改選に向けたご協力をお願いします。

## 【民生委員の声】

民生委員・児童委員の仕事は、1期(3年間)では良い仕事はできないため、長く続けていくことが重要だと思っています。

民生委員・児童委員は、なろうと思つてなれるものではないかもしれません。地域の皆様からの信用があつてこそ、選んでいただける仕事なのです。

活動していく中で大切なのは、困つた方が相談に来てくれるような信頼関係を築くことです。信頼関係は一朝一夕でできるものではなく、長い時間をかけていくことが必要です。

私は今後も選ばれた誇りと信念を持って、自分を頼つてきた方々の良い相談者として活動していきたいと思ひます。



### 【問合せ】

健康福祉課(42) 3966

## 「赤十字減災セミナー」開催 自助・共助の大切さを学ぶ

日本赤十字社が実施する国際救援活動や国内の災害救護活動、救急法等の応急手当の講習普及事業等のさまざまな活動は、赤十字の活動にご賛同いただいた皆様からいただく資金で実施されています。

その一環として、5月17日(金)に環境センター文化ホールにて、「赤十字減災セミナー」が開催されました。

東日本大震災以降「防災」「減災」に対する関心が非常に高まっています。



ハンカチを使った応用包帯

ボランティアの松崎町赤十字奉仕団員の方をはじめとする参加者の皆様は、災害時に発生が予想される被害を最小限にするよう自助(自分の生命は自分で守る!)・共助(地域で助け合う!)の大切さやハンカチを使う応用包帯、毛布を使う担架・ガウンの作り方、新聞紙を使うスリッパの作り方を学びました。



毛布を使った担架の作り方

### 【問合せ】

健康福祉課(42) 3966

# 投票は 住みよい社会の 第一歩

6月16日(日)は静岡県知事選挙の投票日です。

投票日と投票時間	6月16日(日) 午前7時～午後7時 ※門野と三浦地区は、午前7時から午後6時までとなりますので、ご注意ください。
投票できる人	平成5年6月17日までに生まれた方 平成25年2月27日までに住民となった方 ※詳しくは、選挙管理委員会へお問い合わせください。
投票する場所	投票所入場券に該当する投票所が記載されていますので、お確かめの上、投票にお出かけください。

## 期日前投票制度

投票日に仕事や旅行、通院等で投票所に行くことができない場合は、期日前投票ができますので、ご利用ください。(詳しくは、投票所入場券裏面をご覧ください。)

※ご不明な点は、選挙管理委員会 (TEL 42-1111) までお問い合わせください。

【問合せ】  
教育委員会 (42) 3971



海洋クラブ入団式



みどりの少年団入団式

みどりの少年団・海洋クラブの入団式が行われ、今年度の活動がスタートしました。今年度は、みどりの少年団に10人、海洋クラブに13人の小中学生が入団し、松崎の雄大な自然の中で、自然の素晴らしさ、仲間と協力することの大切さを学んでいきます。

みどりの少年団  
海洋クラブ  
入団式

## 児童手当を受給している皆様へ！

6月以降も児童手当を受け取るには、所得状況を確認するため、**6月28日(金)**までに現況届の提出が必要になります。

期限を過ぎると受給できなくなる場合がありますので、お忘れのないようお願いいたします。



【問合せ】

健康福祉課 (42) 3966

髪型を変へた理由はただひとつ  
心境の変化といふことにする  
那賀川の中州いろどる葦の穂に  
雀群がりにぎはひてゐる  
ラベンダーの美瑛の丘に咲くといふを  
一度は見たしと憧れてゐる  
ビートルズの姿描かれる壁の前を  
日ごとに歩む楽しみとして  
この先に待ちゐるはなに少年の抜けたる  
小さき歯を屋根に投ぐ  
店のほぼ中央に置く花なれば  
うしろも正面気をひきしめる

高橋 百代

岡村 芳子

山本 智恵子

細田 光代

土屋 君子

杉山 安紀子

松崎文芸

— 短歌 —

# ～まちのできごと～

## 5/11・12 石部赤根田村百笑の里田植え祭



石部棚田で、田植え祭が行われました。初日はあいにくの天候でしたが、2日間で約500人のオーナー、トラスト会員等が集まり、田植え作業を行いました。

## 5/12 第11回雲見温泉高通山はいきんぐつつじまつり



雲見の高通山は、見ごろを迎えた山ツツジと絶景を楽しむ登山客で賑わい、山頂では冷たいオリーブ茶と甘夏、登山口ではトコロテン等が振る舞われました。

## 5/14 伊豆の長八美術館で入館者400万人達成



伊豆の長八美術館では、入館者が400万人を達成し、お祝いのセレモニーが行われました。記念すべき400万人目の入館者には、町長から花束や記念品が渡されました。

## 5/15 ネットヨタ静岡から防災用品の寄贈



ネットヨタ静岡から町へ防災用品（6年保存の飲料水672箱）の寄贈がありました。寄贈を受けた飲料水は、町内の幼稚園、小学校、中学校に備蓄されました。

さらに、6月になると岩地海岸を舞台にシーカヤックマラソンやオーシャンスイムレースが開催され、これらを趣味として楽しむ方が日本全国から訪れます。

松崎町には、さまざまな趣味、趣向に対応できる海や山、川があります。そして、これらの自然環境により育まれた素晴らしい文化があります。

## 自然との和、人との和、先人との和

5月14日（火）、伊豆の長八美術館では、昭和59年のオープンからの入館者が400万人に達し、町内会の旅行で長野県から訪れた方に記念品をお渡ししました。

また、5月の大型連休には、田んぼをつかった花畑の入場者が昨年の2倍近くとなったほか、石部の棚田で開催された田植え祭には、2日間で延べ5000人が参加する等、冷え込んだ観光業に明るい話題が増えてきました。

私は講演等で常々、「海と山は恋人、川は仲人」とお伝えしていますが、人々が訪れたいと思う本場の自然の美しさとは、景観に加え、そこで生活する人々によって醸成された文化であり、人情だと思っています。

これは、先人から引き継いでいる文化であり、私が推進する「平成の花とロマンのふるさとづくり」や「日本で最も美しい村」

「日本で最も美しい村」連合への加盟等、さまざまな施策の目標は、この文化を町内外に発信することです。

町民の皆様におかれましては、これらの施策にご理解とご協力をいただき、ますますともに、自然との和、人との和、先人への和、先祖との和を大切に、郷土愛を育んでいただくようお願いいたします。

## 町長室からこんにちは ④2

松崎町長  
齋藤 文彦

広報まつねぎ

二〇一三年六月一日発行  
通刊 第五八九号

千四〇三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一  
五〇五〇四二一三九六四 五〇五〇四二一三二八三

発行 静岡県松崎町 編集 企画観光課  
印刷 (株)山本印刷

### 町の人口と世帯

(平成25年4月30日現在)  
( )内は前月比

総人口	7,519人	(-15人)
男	3,572人	(+1人)
女	3,947人	(-16人)
世帯数	3,057戸	(+15戸)
転入	38人	転出 43人
出生	6人	死亡 16人

### 町の交通事故

平成25年4月発生分  
( )内は前年同月比

人身事故	2件	(-2)
物損事故	8件	(+1)
死者	0人	(±0)
傷者	2人	(-2)

### おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
大澤	土屋忠良	77	嘉枝
東区	黒田芳子	77	福市
建久寺	加藤昭二	85	つるよ
道部	糸川敏明	69	やよい
船田	船津和衛	73	ちづ子
山口	佐藤千秋	90	芳信
江奈2	竹田千鶴子	85	望月桂介
岩地	齋藤武壽	90	貞一
江奈2	齋藤包夫	84	利枝
西区	端山きち枝	78	晋一
那賀	藤井映子	57	正美
大澤	山本早江子	84	松恵
石部	山本岩根	82	則之

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

### (4月届出分) 戸籍だより



### おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
伏倉	拓	男	山本学
南郷	紗夢	女	山本寛子
伏倉	心羽	女	大胡田雄三
中区	蒼空	男	浅賀順司
江奈2	琉成	男	石野正志
南郷	瑚春	女	鈴木大将

### ストップ！悪質商法被害

「あなたも賢い消費者に！」

「健康食品の送り付け商法被害が増えています！」

以前、注文してもいないのにカニが送り付けられてくる「送り付け商法」が多発した事がありました。こうした「送り付け商法」が最近では、主に高齢者を対象として健康食品で再び増加しています。

注文した覚えもないのに健康食品が送られてきたため、事業者に注文をした覚えがない旨を告げると、事業者は「注文した記録が残っている」等と答え、記憶があいまいなことに乗じて、あたかも注文をしたかのように思いこませて代金を支払わせるといふ大変悪質な手口です。

このように注文していない商品が一方的に送り付けられてきた場合、特定商取引法という法律では、商品が届いてから14日間(消費者から引き取るよう要請した場合は7日間)が経過すれば、届いた商品の返品が必要はない旨を規定しています。また、そもそも注文をしていない以上契約は成立していませんから代金を支払う義務はありません。

身に覚えのない商品が送り付けられてきた場合は、すぐに代金を支払う等といったことは避け、役場等に直ちに相談をしてください。

(文と絵) 司法書士 山田 茂樹  
【問合せ】企画観光課(42)3964



### 地域交流通信

松本市安曇地区から

安曇川を流れる  
島々谷川の桜並木

松本市安曇島々宿(現島々地区)沿いに流れる島々谷川の島々橋周辺には桜並木があります。橋の上下流約200mにわたって川の両岸に桜が咲くころ、島々も遅めの春本番を迎えます。桜は堤防沿いに植えられていて、枝が川に大きくせり出す姿は見ごたえがあります。

今年の桜祭りは4月21日(日)の観測史上最も遅い大雪の中の開催となりました。

桜祭りには地域おこしグループ(コロポックル・チャレンジの会・岩魚留小屋・ヤンチャポーズ)が毎年出店します。

今年は、園児や子供たちには水ヨーヨー、スーパーパールすくい、綿あめやポップコーンを振る舞い、ジュース等をプレゼント、大勢の子どもが集まりにぎやかなお祭りになりました。

町内公民館前には、焼き鳥、焼きそば、牛串焼き、焼きトウモロコシ、岩魚の塩焼き、

豆腐、おこわ、パン、トン汁、生ビール、お酒、フランクフルト等、飲食用のさまざまな屋台のブースが並び、来場者に好評で、早々に完売しました。(島々町会長 上條祐史)



桜祭りを楽しむ来場者



雪が積もった桜並木